



空高く
子等の田植の
声響く

ミツエ

みんなでワイワイ泥ん子田植え（比井小2年）

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第98号

平成 16 年 7 月 30 日

広川南インター 10月供用開始
補正予算 2p

志賀保育所 増改築工事
工事契約 3p

水道料金改定
一般質問 4p

由良・日高合併協議会 設置 8p



ずいぶん成長しました 🌱

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

6月定例会

第 2 回定例会は、6 月 14 日から 23 日まで 10 日間の会期で開催した。

今定例会には報告 1 件、議案 13 件、工事請負契約 2 件が提案され 慎重審議の結果、原案のとおり可決した。

補正予算

一般会計

既定の予算額に 1 億 1 1 0 0 万 3 千円を追加し、46 億 9 9 0 1 万 7 千円となった。
主なものは地籍調査費に 3 1 8 万円、広川南インター負担金に 2 1 2 4 万 8 千円、町道改良費に 2 0 0 0 万円、学校給食費に 2 8 9 8 万 7 千円。

主な質疑

割合になっているので、当町の負担金は 2 1 2 4 万 8 千円である。

問 農業振興費の、アグリビジネス支援事業補助金の内容は。

産業課長 県が昨年からはじめた事業で、都市と農村の交流を通じて創造的な農業を育成し、農業所得の拡大と地域内における雇用を創出する支援事業である。

問 広川南インター負担金 2 1 0 0 万円余りの詳細説明を。

建設課長 広川町との協定書に基づき、6 対 4 の

問 給食代金の徴収方法は。

教育次長 案としては、月単位の前納で考えている。

問 毎日の献立内容は。

教育長 栄養士を採用し、学校給食運営委員会に諮って、児童生徒の必要なカロリー、栄養バランスを基に 1 ヶ月のメニューをつくってもらった。



完成間近の広川南インターチェンジ

特別会計

下水道

既定の予算額に 4 0 8 万 2 千円を追加し、総額 9 億 4 8 7 4 万 9 千円となった。

老人保健

既定の予算額に、7 5 9 万 2 千円を追加し、8

億 6 5 4 9 万 7 千円となった。
主なものは平成 15 年度老人医療費償還金。

主な質疑

問 償還金 7 5 9 万 2 千円、どこに返すのか。
住民課長 社会保険診療報酬支払基金である。

国保条例の一部改正

国民健康保険税の介護納付金（40 歳から 64 歳の被保険者にかかる分）を値上げ。

国保税介護納付金改定

	旧税率(額)	新税率(額)
所得割	0.6%	1.35%
資産割	4%	5.5%
均等割	5,500 円	7,300 円
平等割	3,300 円	4,200 円

主な質疑

問 一人あたり平均の値上げ額は。
税務課長 約 5 6 0 0 円。

工事請負
契約 2 件

志賀保育所増改築工事 完成予定はH17年3月

志賀保育所増改築工事 2億1567万円（落札率94・66%）
工事業者 西松建設株式会社関西支店



安全を願って起工式

主な質疑

問 仕事が少ない中で、これぐらいの増改築工事であれば、地元業者（県内業者）でなぜやれないのか。

指名選定基準は、

助役 技術力・工程管理・信用度を加味し、1300点以上の48社を対象に営業努力の頻度が高い順

に30社を抽出し、さらに抽選で15社を指名した。

問 大手ゼネコンの下にいつも地元業者が下請けで入っている。

実際やっているのは、地元業者である。なぜ指名できないのか。

助役 今回の増改築工事については、保育所のすぐ隣であり、危険度が高

444万円である。

問 全国有数の大手ゼネコンが参加しての競争入札。

いつも高率な落札である。非常に厳しい財政状況の中で、指名についても十分検討すべきではないか。

助役 十分検討する。

ということから工事管理がうまくできるゼネコンを指名した。

問 設計額に對して、最高の予定価格と最低の予定価格は。

住民課長 上が2億1699万円、下が1億8

谷口小池地区第一工区管路施設工事 5,271万円（落札率97・87%） 工事業者（株）稲垣工務店

下水道事業

主な質疑

問 他の市町村と比べ日高町は、なぜ落札率が高いのか。

上下水道課長 指名競争入札で行った結果である。

問 指名競争入札の基準は。

上下水道課長 日高町の建設工事請負指名基準で行う。

問 以前に、町外業者を入れて実施されたと思うが、今回町内業者に絞った理由は。

助役 今一番、仕事のないときでもあり町内業者育成と

いうことで、能力等を考慮して7業者を指名した。

問 仕事がないときだけに、競争入札すれば落札率が低くなるのが当然のことだと思いが。

上下水道課長 入札に際しては、現在設計額・落札予定価格を公表している。それによって業者は、工事内容を提出して入札に臨む。

あくまでも、入札結果である。

問 今後、町外業者を入れて競争入札する考えはないのか。

助役 日高町の一般土木については、指名基準と準指名基準を設けている。これ以外にということはない。

未来をきづく

Q & A いっぽん質問

山本源昭 議員 自治体に危機感はあるのか 町長 健全財政に取り組む



問 先日、合併問題検討特別委員会で、企画財政課長より「今後の地方交付税と財政調整基金残高の推移予測」の説明を受けた。
平成20年頃には、非常に厳しい財政状況とのことである。

今後、町税の減少や地方交付税が削減される中、行政サービスを維持するには、住民負担も考え直す必要がある。
その前に、行政全般での改革が先決である。
事務経費の削減や施策の見直し、必要ではないか。

町長 従来からの慣行にかかわらず、補助金、負担金、委託金等を見直し、費用対効果を重視したい。

問 合併は、究極の行政改革である。
自治体の危機意識の欠如、聖域なき減量化、年功序列の賃金体系などを考え直さねばと思うが。
町長 十分、念頭に置いて検討したい。

問 町三役の給料の見直しの考えは。
町長 平成8年に改定され据え置かれているが、健全財政に向け取り組みたい。

問 人件費（給与・報酬）や職員の各種手当を見直すべきだと思うが。
町長 給与や各種手当は、

官民給与の格差是正のため、人事院勧告に対応して民間給与との均衡を図り対応したい。

また、各種手当については、昨年、扶養手当の引き下げ、住居手当の支給対象の改正、期末勤勉手当の引き下げを行った。

問 アパート等に住んでおり、住居手当を支給している人数と総額は。
町長 給与や各種手当は、

町長 11名で、262万6000円である。

問 勤勉手当は、一律支給しているのか。
町長 一律支給している。

問 県下や郡内の町村では、調整手当の引き下げや廃止を行っているところもある。十分認識されたい。

次に、職員の昇給停止について、現状と今後の考えは。

町長 現在、昇給しない年齢は58歳と規定されているが、県では昨年4月より、55歳以上昇給停止になっており、当町も見直しする必要がある。



県下一の薄給市長へ
柏木氏 6月議会に4役カット案を上程
定期会見

21年までに26人、4億2900万円
市議会 執行部が職員と人件費削減目標を
行政改革

（見出しは日高新報記事）

すすむか行政改革



西岡 佳奈子 議員

由良町との合併のメリットは 町長 新町建設計画でしめす

問 由良町との合併による具体的なメリットは。

町長 合併協議をし、新町建設計画を立てた中で示したい。

問 現時点で「どんな町を」と考えているか。

町長 よりよい町づくり、少子化、高齢化、障害者対策に力を入れたい。

問 合併特例債の活用をどう考えているか。

町長 新町建設計画の協議の中で検討する。

問 合併特例債は借金である。慎重さが求められると思うがどうか。

町長 そのとおりである。

問 普通地方交付税に関する。例えば、合併したほうが15年後には大幅に減る。

合併してもしなくても厳しい財政状況に変わりはなく、もし、合併で一

安心という考えが起これば、単独の場合よりも一層厳しい状況になりかねない。そういう認識は。

町長 十分認識している。

問 合併についての最終的な住民意思の確認方法として、アンケートや住民投票を考えるべきだと思つた。

町長 由良町や議会と相談の上で決めていきたい。

問 町長をはじめとする特別職が、合併によって失職すると、退職金が1.5倍になるという規定がある。

全国でも、和歌山県を含め4道府県しかない制度である。

割り増し分は、合併後の町が払うという規定となっている。

経費削減といいつながら、退職金が1.5倍というのは住民の理解が得られない。

町長 日高郡町村会での話し合いや、県役員会での検討の結果、1.5倍でいくという結論が出ている。苦慮するところだが、従わなければならない。

実効性のある 次世代育成支援計画を

問 次世代育成支援行動計画は、保育・健康・教育・労働・安全・住宅など多面的な内容が求められている。

今後10年間の子育て支援のあり方をさし示すも

のとして、実効性のある計画が求められる。

町長 策定に向けての予定は、昨年12月に二ス調査を実施した。

計画策定委員会を設置し、今年12月ごろまでに

素案を作成。来年度からの行動計画スタートに向け万全を期す。

問 素案に対して住民からの意見を聴く手続きは。

住民課長 住民課で素案を提示し、意見を書いてもらえるようにする。



未来を担う子どもたち（日高中学校）



移転はいつかな？

高家駐在所の改築移転

町長 警察・県と相談し取り組む

天満 滋明 議員



問 この件については助役が担当と聞くが、用地確保の進捗状況は。

助役 県は借地でも良いとのことである。地権者の内諾を得ているところであり借地料も県の負担となる。

問 駐在所の改築移転については以前から警察、町双方が取り組んでいるが未だ進展していない。駐在員が生活する建物は、狭くて勤務する上においても不便を来たしており、駐車場は無いに等しい状態である。

問 地権者とは借地料での話し合いはついているのか。

助役 大体の目安の金額は知らせている。

現状を踏まえ町としては早急に尽力するべきと思うが。

問 用地の内諾を得ているのであればもつと前向きに取り組んでは。

助役 県の補助金さえ付けばできるものと考えている。

町長 以前から御坊警察署より建設用地の確保を依頼されている。その後、用地の確保に努めているが決定には至っていない。

問 移転については用地の確保が先決事項だと考える。

町長 県当局では17年度の予算確保を実現するには、本年7月頃には用地の決定が必要と言っているが、いまから早急に進めてはどうか。

場所としては役場周辺の県道筋で、用地の面積は約250㎡程度、造成費および道路からの進入部の工事費、また旧駐在所の撤去費等が町の負担となる。

町長 大事なことなので警察と話し合いをして要望していく。

このような状況下、教育委員会としてもいろいろ対策を考えていると思うが取り組み等は。

教育長 事件の発生のたび心の教育、指導の徹底など諸策を講じている。今年の計画として子供の安全を守るため、教職員の不審者等に対応する訓練研修を、講師を招いて実施する。

身近に迫る事件、犯罪

問 身近に凶悪な事件が起きている。

事件後警察もパトロールを強化しているが、行政としての対応は。

町長 住民の防犯に対する意識は高まっていると思われるが、行政としても地域安全のため警察、行政、住民

その他関係機関と連携のもと対処したい。

問 少年、児童による想像もつかない衝撃的な事件が多発している。

このような状況下、教育委員会としてもいろいろ対策を考えていると思うが取り組み等は。

教育長 事件の発生のたび心の教育、指導の徹底など諸策を講じている。今年の計画として子供の安全を守るため、教職員の不審者等に対応する訓練研修を、講師を招いて実施する。



中村 性一 議員

水道料金の値上げに一考を

町長 改定は議員のみなさんと相談する

問 3町合併を中心に行われた水道事業計画書では、水道料金を平成17年度で20%、21年度で25%値上げする計画となっている。

合併が破談になった今の時期に値上げを考え直すべきではないか。

町長 現在、3700万円の原水費を一般会計から支出している。

独立採算にするため、52%の値上げが必要であるが、住民負担の軽減に努め、原価割れを承知で17年度で20%の値上げを予定。

3～4年後を目途に収支計画を作成し、独立採算に向けた健全経営に取り組む。

問 水道料金に直接影響する減価償却費6639万円のうち、萩原浄水場分はいくらか。

上下水道課長 4263万円。

問 御坊市の最新の膜処理浄水施設が、5億100万円。それよりも小さい萩原

浄水場の消費税抜き取得価格が、12億8000万円と2.5倍も高い。理由は何か。

上下水道課長 御坊市は、膜処理棟と、膜ろ過処理施設の設置工事。

当町のは、施設の全般的な改修工事を兼ねた総合的な工事である。

問 次に、膜

処理施設だけを更新するのであれば、12億円も見込まなくても、5億円程度見込んだ減価償却費でよいのではないか。

上下水道課長 企業会計と

して、12億円の投資に対する減価償却費を計上しなければならぬ。

問 人口増や下水道整備で水道料金に直接影響する使用水量は、今

後、増加するのではないか。

上下水道課長 3力年計画の中で、3年後に使用水量が伸びた場合、計画表も修正する。

問 由良町は、平成20年度と21年度で8億円投入して浄水場の改修を計画

している。

このため、平成22年度の減価償却費は2.5倍に跳ね上がり、赤字経営となる。

それでも、平成26年度まで「水道料金は値上げしない」という水道事業計画となっている。当町も、最初に発表し

た平成20年度に20%値上げ案を軸にした経営努力をすべきではないか。

町長 企業会計の初年度において、少しでも底上げをしていきたい。

料金改定については、議員のみなさんと相談したい。



来年2月完成の浄水場工事

日高町・由良町

法定合併協議会 設置



がっちり握手

6月23日 第2回定例会

法定合併協議会設置議案

賛成多数で可決

第2回定例会において、日高町・由良町合併協議会の設置議案が提案され、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 この協議会を設置する前に、地区懇談会を開き、住民の理解を得るべきだと思うが。

町長 合併協議会を立ち上げて、新町建設計画を作成した段階で説明会をもちたい。

問 再び同じ結果を繰り返さないためにも、また2町合併への町長の意欲を示すためにも、事務局態勢はきわめて重要だと考えるが。

町長 十分な態勢を持つて前向きに取り組む。

問 新町建設計画策定支援委託とは。

助役 住民へのアンケート調査等を委託する。

問 アンケート調査を実施する目的は。

助役 アンケート調査に基づいて、新町の町づくりを策定していく。

問 2町合併へのこれからのスケジュールは。

助役 事務局が立ち上がり次第、早急に計画を策定する。



賛成討論

住民に選択を迫る材料作りとして、協議会設置を推進し、徹底的な調査、検討を望む。

反対討論

2町合併のメリット、デメリットなどできる限りの資料を示し、住民に理解を求める地区懇談会を開き、協議会を立ち上げるべき。
現時点での協議会設置には反対する。

5月13日 第1回臨時議会

美浜町、日高町、由良町

法定合併協議会廃止議案

全員賛成で可決

第1回臨時議会において、美浜町、日高町、由良町合併協議会の廃止議案が提案され、全員賛成で可決した。

廃止理由

これまでの合併協議会の場で、3町の意見の相違が大きく、これ以上協議を続けても、調整が不可能であるとの結論にいたり、平成16年5月31日をもって合併協議会を終了し、解散することが確認された。

意見書

有害鳥獣駆除 規制緩和を

日高町では、野生動物による農作物の被害が年々増加し、被害箇所も平野部にまで広がっていることから、

狩猟期間（現在、11月15日から2月15日まで）を拡大するよう求めた意見書を全議員の賛成で可決し、和歌山県知事に提出した。



頭の痛い防護対策

地方分権のための 地方税財政改革を

国は、「三位一体の改革」の名のもとに地方交付税の大幅削減や、国庫補助金の削減、廃止をしながら地方への税源移譲を先送りしている。

このため、全国の地方自治体の財政が、大きな打撃をうけている。

日高町議会は、本来の地方分権のための地方財政改革を推進するため、国に対し「国と地方の財源配分を見直し、地方が担うべき事務と責任に見合った財源を基幹税により早期に移譲すること」地方交付税については、一定の行政水準を確保するため、いつそつ充実を図ること」を求めた意見書を全議員の賛成で可決。

内閣総理大臣や衆参両院議長などに提出した。

近畿自動車道紀勢線の 整備促進を

「近畿自動車道紀勢線は、和歌山県にとって地域経済を活性化する自立の道、また、地震災害時の緊急輸送路としての命の道であり、早急な整備」「従来の整備スピードを落とすことなく着実な整備、推進」「地域の利便性向上に配慮」などを求めた意見書を全議員の賛成で可決。内閣総理大臣や衆参両院議長などに提出した。

委員会レポート

うすいの 新品種に期待 産業建設委員会

5月25日、日高町農業の主要作物の推移や現状等について調査し、その後、県の暖地園芸センターを訪ね、うすいえんどうの新品種（紀の輝）での産地復活、また、就農支援について視察研修を行った。



期待される「紀の輝」

* 就農支援とは、本年4月、県の機構改革により新設された「Uターン、Iターン」等の就農希望者、農家の新卒後継者を対象に、就農相談、農業体験研修、経営に至るまでの一元的な支援活動をするものである。

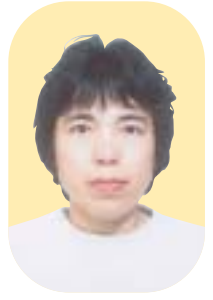
温泉館、斎場の 指定管理条例議案 廃案 指定管理者制度検討特別委員会

3月定例議会で、指定管理者制度導入に向け提案され、当委員会付託となっていた両議案は、その後、再々委員会を開き研究

審議をしてきたが、議案の不備等により審議未了廃案とした。

まちの声

高家在住 栄 茂美さん



「まちづくり」に思う



子育て支援の輪を 「たんぼぼ王国」

母さん方と一緒にになって、サークル「たんぼぼ王国」をつくった。

活動を通して感じることは、真心を持って人とかわる「ことが、相手にとっては大きな励ましとなり、自分にとっては心を豊かにしてくれる。物やお金ではない。人の心を満たし、豊かにしてくれるのは、人であり、支えてあげられるのも人である。

このことを、今の子供たちに教えてあげたいと切に思う。

たんぼぼ ネットの活動の場を広げるとすれば、今の子育て支援

の場をさらに青少年支援の輪へと広げたいという希望がある。子供たちは、ものすごいエネルギーと集中力を持っている。発想も奇抜でおもしろい。

ただ、自分を表現する力が弱いし、またそういう場もないのがかわいそうである。自分たちの心の思いを自由に表現できるような「バンドとダンス祭」を企画してあげたいと思う。



志賀小学校でよみきかせ (学社支援ボランティア)

みなさま方の意見をまちづくりします。

編集後記

私は、下校する小学生や帰宅した保育園児と出会ったとき、いつも元氣よく、こんにちは、「おかえり」と声をかけます。

はじめのうちは小さい「こんにちは」とか、「ただいま」の声でしたが、だんだん元氣なあいさつが返ってきます。母親に「こんにちはのおっちゃんが来た」と言って、新聞を受け取りに来る園児、うしろからかわいい自転車ですつてくる児童もたまにいて、仲良しになれたという嬉しい気持ちです。

「議会だより」の表紙には、元氣な子供たちの写真が好評ですが、裏表紙の「まちの声」にも、子供たちのニュースをお寄せください。

中村 性一